

2020 年度 学校関係者評価報告書

学校法人田中育英会
総合学院テクノスカレッジ
東京工学院専門学校

学校法人田中育英会 東京工学院専門学校では『2020 年度自己評価報告書』に基づき「学校関係者評価委員会」を開催いたしましたので以下のとおりご報告いたします。

2022 年 3 月 23 日
東京工学院専門学校
校長 小川 一廣

記

1) 日 時 2022 年 3 月 23 日(水) 15:00～16:30

2) 場 所 小金井校舎 2F 会議室

3) 出席者

団体 塚本 雅哉 様 NP0 法人 SWIM SUPPORT 理事長

企業 鈴木 美隆 様 株式会社 NKL 営業部 部長

企業 田代 昭博 様 ネクセンツ株式会社 代表取締役

卒業生 鎗 清二 様 澤新木材株式会社 代表取締役

(卒業生 岡野 俊彦 様 株式会社 Ciel 代表取締役社長は欠席)

学校側出席者

亀田 俊夫 総合学院テクノスカレッジ 学院長

小川 一廣 東京工学院専門学校 校長

大田 和志 東京工学院専門学校 副校長

4) 委員会次第

(1) 開会

(2) 校長挨拶

(3) 委員紹介

(4) 学校評価の目的と経緯

(5) 審議 自己評価報告書の各規準項目に対する委員からの意見/助言

(6) 学院長挨拶

(7) 閉会

5) 評価基準項目ごとの各委員からの意見/助言等

1 学校の教育目標

: 今年度は小金井市/国分寺市のほかに長野県佐久市と地域活性化包括連携協定の締結を目標とする

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

: 特になし

3 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

- : 講師会・ガイダンスにおいて、あるいは配布資料によって教育理念や目標が共有されているので、評価は適切だと感じる
- : 学校以外の第三者、例えば保護者や卒業生、企業の方々など社会に広く公表されているか記載した方が良いのではないか

(2) 学校運営

- : 特になし

(3) 教育活動

- : 講師にも Technos ゼミの全容を広めていく必要がある
- : 学生アンケート等による授業自体の評価をして欲しい
- : 外部評価（第三者評価）は前向きに検討していただきたい
- : ほぼ適切であるが社会業界の変化を迅速かつ適切に把握するため教員一人ひとりが積極的に社会探求を続けて欲しい

(4) 学修成果

- : OB として卒業生との繋がりを強く持っていただけると有難い
- : 卒業生が今後在校生たちに業界の取り組みややりがいをもっともっと伝えていきたいので、キャリアセンターと直接つながりたい
- : 卒業生のコミュニティーを作り、卒業生から定期的に学修成果の評価を実施してもらうことが重要

(5) 学生支援

- : オンライン授業が多かったので、コミュニケーションが取りにくいという問題があったので、学生へのケアが必要
- : コロナ禍で就職状況などが厳しく、在籍 1 年延長などの学校の取り組みは大変だったのではないかと
- : スクールカウンセラーは適切な措置であり、なお且つ学生たちが直接スクールカウンセラーに相談できるシステムは理想的である

(6) 教育環境

- : コロナ禍初年度の on-line 授業に関して、zoom, ラーニングボックスは非常に使い辛かった
- : バリアフリーなどの取り組みがあれば、明記した方が良い

(7) 学生の受入れ募集

- : 入学後のミスマッチをなくすためオーディション入学、A0 入学を実施してい

るのも適切である

:コロナ感染拡大の影響などで募集は大変苦勞していると感じています

:コロナ前に実施していた MUSAKO FEST などのイベントは、高校生にとっても意味のあるイベントに感じていた。

:コロナ禍で高校ガイダンス、オープンキャンパスなどが難しく、オンラインでコミュニケーションを取るのも大変だと思うが頑張っで欲しい。協力できることがあれば協力させていただきたい

(8) 財務

:特になし

(9) 法令等の遵守

:個人情報に関して、利用・アクセス制限・破棄に関しては記載しておいた方が良いのではないかと

(10) 社会貢献・地域貢献

:小学校の多くがプール授業を維持できずに外部委託をしているので、小金井/国分寺市の小学生の指導を学生が行うということを積極的に検討すると良いのではないかと

:小・中・高校生だけでなく 高齢者にも目を向けて欲しい。災害時の対応など学校に求められる役割は大きいと思う

(11) 国際交流

:自分が生まれ育った文化と違う文化を経験することは有意義なので、今後も取り組みを拡大していただきたい。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

社会の変化/企業のニーズを把握し、それに対応したカリキュラムを編成して、常に時代の変化に対応している。また、卒業後即戦力となり、かつ社会常識とマナーを身につけた国際人となりうる人材を社会に送り出している。

2021 年度から 5 か年戦略をプランして実行する「テクノス戦略 2025」を策定している。

今後も「建学の精神」のもと、社会のニーズを的確にとらえた充実のカリキュラムにより、高い専門知識はもちろん総合力、人間力を身につけた「本物の職業人」の育成を目指している。

以上